

初夏が
おすすめ

No. 10 茶どころ宇治の 名所をめぐる

自然

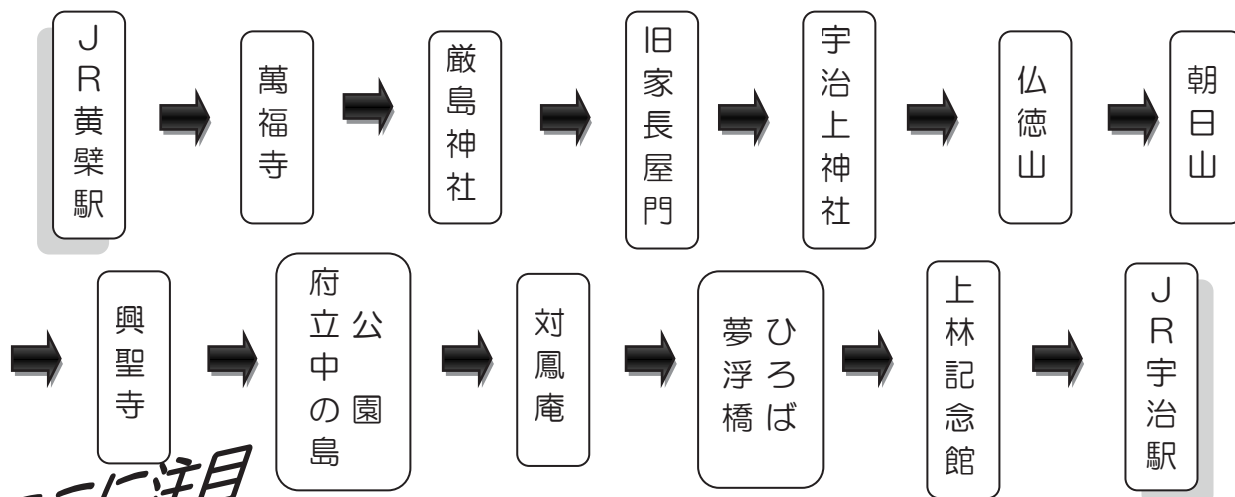
歴史

古道

宇治茶

おすすめポイント

「山門を出れば日本ぞ茶摘うた」の句そのままの世界が展開したであろう萬福寺から宇治への道は、古代、大陸の文化が行き来した街道である。明恵上人により茶が伝えられた宇治茶発祥の地 黄檗から巖島神社へかけては、かつて大鳳寺村といわれたところで一面茶畑であったとか。遠くに巨椋池跡を望み、世界遺産の宇治上神社から仏徳山（大吉山）へ登り、眼下にもうひとつの世界遺産 平等院、宇治市街を展望し、道元禪師開基の興聖寺へと向かう。このあたりは、かつて宇治七名園のひとつと呼ばれた朝日園のあったところ。ゴールに市営の茶室「対鳳庵」での一服はいかがでしょう。



ここに注目



●旧家長屋門

宇治で茶の生産、製茶、普及発展に尽力してこの地で代表的な名家の一つになった旧家長屋門。宇治茶の発展に関わった茶師仲間の中でも上林家、宮林家、梅林家は『宇治の三林』として知られ、今に残る長屋門から往時の茶師の力が偲ばれる門構えである。



●対鳳庵（市営茶室）

数寄屋造りの市営茶室。平等院鳳凰堂に相對していることから『対鳳庵』と名付けられた。季節にふさわしい茶菓子を添えて、薫り高い本場の宇治茶のお点前の味をゆっくり楽しんでいただけます。

